

令和 2 年度外交に関する国内世論調査結果（概要）

- 1 「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた日本の取組
 - ・評価できる : 74.4%
 - ・評価できない : 8.2%
- 2 東アジア地域を取り巻く安全保障環境（近年一層厳しさを増していると考えるか。）
 - ・そう思う : 82.4%
 - ・そう思わない : 10.5%
- 3 女性参画推進分野における日本の国際的取組（「国際女性会議WAW!」の開催等）
 - ・良い取組である : 56.0%
 - ・「国際女性会議WAW!」を知らないので評価できない : 33.3%
 - ・意味がない : 10.7%
- 4 日本による国連の活用（2020年は国連創設75周年）
 - ・役立つ : 81.7%
 - ・役立つしない : 14.8%
- 5 日本政府の「自由貿易の推進」の方針と取組
 - ・評価できる : 80.5%
 - ・評価できない : 13.9%
- 6 国際的な気候変動対策への日本の取組（これまで以上に積極的に貢献していくことをどう思うか。）
 - ・良いと思う : 88.6%
 - ・良いとは思わない : 9.0%
- 7 日本の開発協力において優先すべき分野（複数回答可）
 - ・1位：教育や職業訓練を含む人材育成 : 59.0%
 - ・2位：保健・医療（新型コロナ等の感染症対策を含む） : 55.6%
 - ・3位：気候変動・環境、防災 : 38.3%
- 8-1 今後日米で関係強化を期待する分野（複数回答可）
 - ・1位：安全保障（テロ対策、軍縮・不拡散を含む） : 67.6%
 - ・2位：経済・貿易・金融 : 51.4%
 - ・3位：新型コロナ対策 : 38.9%
- 8-2 日米同盟のインド太平洋地域の平和と安定への寄与（寄与していると思うか。）
 - ・そう思う : 68.5%
 - ・そう思わない : 26.1%
- 9 今後の日本の対中外交で特に重視していくべき点（複数回答可（2つまで））
 - ・1位：領海侵入等に対して強い姿勢で臨んでいくこと : 69.3%
 - ・2位：人権、自由・民主主義・法の支配の尊重を求めていくこと : 50.3%
 - ・3位 経済・人的交流を活性化させること : 28.7%
- 10 ミャンマー情勢（日本は独自のパイプを活用し、積極的に関与すべきと思うか。）
 - ・そう思う : 72.3%
 - ・そう思わない : 24.0%

（了）